

空気で押し出す 加圧バッグ

PG加圧バッグⅢ

簡単操作

栄養剤容器を入れて
加圧するだけ

＼リニューアル！／ ラクラク加圧

送気回数が減って
さらに使いやすく

負担を軽減

日頃のくり返しの
投与作業を軽減

半固形栄養剤をもっとカンタンに投与。

仕様

一般的名称:手動式圧注入調節装置
医療機器届出番号:27B1X00116000332
医療機器クラス分類:クラスI(一般医療機器)

商品コード	包装単位	JANコード
A60305	1セット	4934989 805300

〈使用上の注意〉

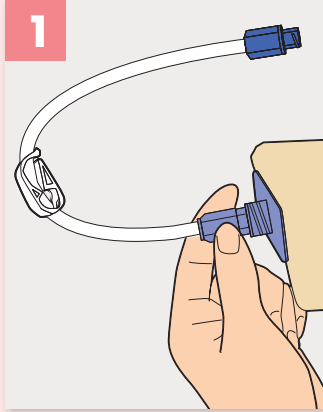
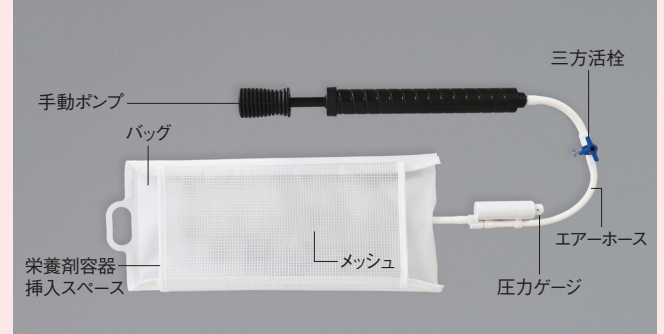
- ご使用の際は、電子化された添付文書をよく読んでから使用してください。
- 手動ポンプ以外の方法(電動ポンプ、院内配管等)で加圧しないでください。[急激な加圧により、バッグの破裂等故障の可能性があります。]
- 50kPa(375mmHg)を超えて加圧しないでください。[過剰な加圧により、製品機能の低下及び破損の可能性があります。]
- 水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管してください。

PG加圧バッグⅢを用いた栄養剤投与方法

事前準備 使用前点検として、毎回、以下の内容を確認する。

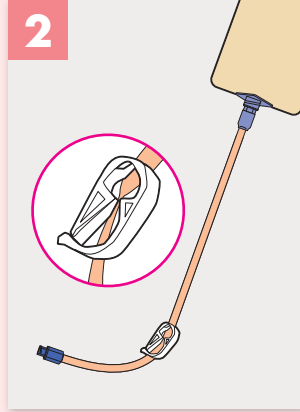
- ・本品に破損(特にメッシュ部分)、ひび割れ、変形等劣化が認められないこと。
- ・手動ポンプとエアホース接続部が接続されていること。また、その他異常箇所がないか確認すること。
- ・加圧した時、バッグ及びエアホース等から漏れがなく、圧力ゲージが50kPaまで上昇すること。
- ・加圧された状態で三方活栓のハンドルを回し、脱気したとき、圧力ゲージが元の位置まで戻ること。
- ・手動ポンプの動作が滑らかであること。

※点検内容を満たすことが出来ない場合には劣化による使用限界である。新しいものと交換する。

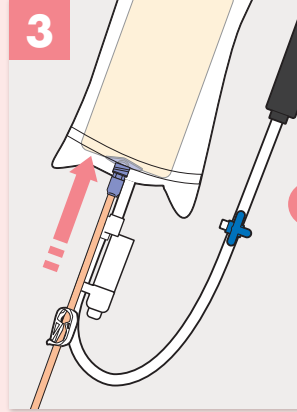


1 栄養剤のふたを開け、連結チューブを接続する。

接続は、過度な締め付けを避けること。チューブから外れなくなる、または破損の原因となる。

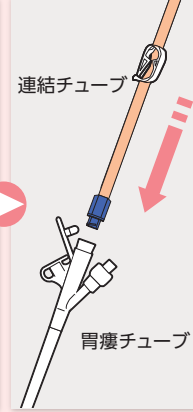


2 連結チューブ内を栄養剤で満たした後、クレンメを閉じる。

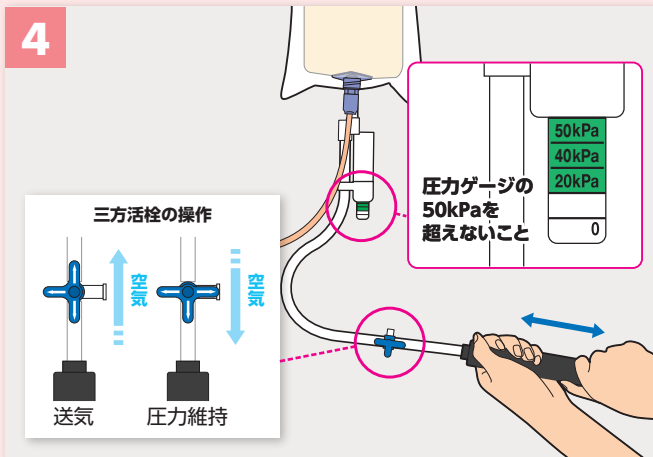
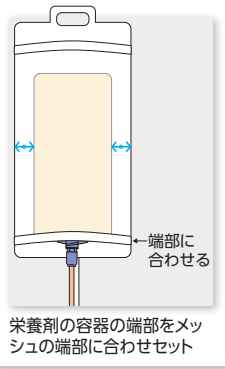


3 栄養剤の容器を加圧バッグの挿入スペースにセットし、連結チューブの先端を胃瘻チューブに接続する。
(胃瘻チューブは回さずに、連結チューブを回して接続する)

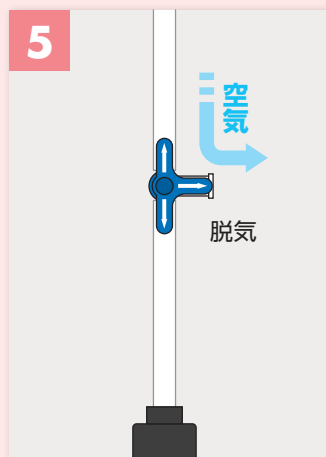
接続は、過度な締め付けを避ける。チューブから外れなくなる、または破損の原因となる。



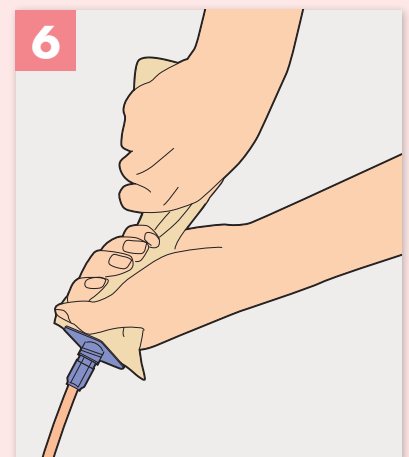
栄養剤の正しいセット位置



4 三方活栓を「送気」に回し、圧力ゲージに20～50kPaの表示が出るまで、手動ポンプで加圧する。加圧後、三方活栓を「圧力維持」に回し、連結チューブのクレンメを開けて投与を開始する。
※圧力は、栄養剤の粘度に応じて調整する。20,000mPa・sの半固形栄養剤は、40kPaの加圧で10～15分で押し出される。



5 栄養剤が押し出され、容器が平らになったら、三方活栓を「脱気」に回す。



6 脱気した後に栄養剤の容器を取り出し、容器を絞って残りを注入する。

PG加圧バッグⅢの使用法の動画はこちら▶▶▶



関連製品

EJ連結チューブⅡ

(チューブ長30cm・60cm)
一般的名称:経腸栄養注入セット
販売名:EJ連結チューブⅡ
医療機器届出番号:34B1X00001000118



PG加圧Qシリーズ PG加圧バッグQ PG電動ポンプQ

一般的名称:手動式圧注調節装置
販売名:PG加圧Qシリーズ
医療機器届出番号:27B1X00116000235



NÜTRI: ニュートリー株式会社

本社 / 〒510-0013 三重県四日市市富士町1-122

お問い合わせ先 TEL.0120-219-038 <https://www.nutri.co.jp>

PPG009 2025年8月作成 64_0064



* 6 4 0 0 6 4 P P G 0 0 9 *